## エコアクション21



# 環境活動レポート

レポート対象期間 令和4年4月~令和5年3月

(書類保存期間 5年)



令和5年 7月25日作成

第9版



熊本推進建設株式会社

## 目 次

## <企業理念・社是>

## 安全と信用を第一に よりよい仕事を親切に

1.会社概要	••••1
2.対象範囲	•…2
3.実施体制	•3
4.環境方針	•…4
5.環境目標	•…5
6.環境活動計画及び実施状況	•…6
7.環境目標の実績	•…7
8.3箇年の環境項目別の推移	•…8
9.環境目標の達成状況の評価および未達成の場合の次年度の取組み	11
10.環境関連法規等の遵守状況	12
11.地域における活動	13
12 代表者による全体評価と目前しの結果	17

#### 1.会社概要

1) 事業者名 熊本推進建設株式会社 代表取締役 清永邦義

2) 認識登録範囲と所在地

本社 熊本市西区蓮台寺1丁目13番6号 資材置場 熊本市北区釜尾329番地1

車両置場

3) 環境管理責任者 谷口 勝 E21担当者 草野優美

連絡先 TEL 096-356-8477 FAX 096-356-8494

E-mail kumasui@if-n.ne.jp

"

4) 事業内容 特定建設業

土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業

舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業 許可番号 熊本県知事許可 特定-29 第604号

※主な工事は土木工事業 その中でも下水道工事が90%を占めている

5) 所有車両・重機ダンプトラック3t1台キャブオーバー2台

キャブオーバー2台ダンプトラック4t2台ユニック車7t1台バックホウ0.35軽トラック1台乗用車2台

6) 事業規模

	単位	H31年度	R2度	R3年度	R4年度
売上高	千円	301,813	444,055	279,175	310,614
従業員	人	12	11	12	12

7) 創業・創立 昭和47年8月

8) 会計年度 期首:4月 期末:3月

## 2.対象範囲

1.登録組織名

熊本推進建設株式会社

2.レポート対象

第50期(令和4年 4月~令和5年 3月)

3.発行日

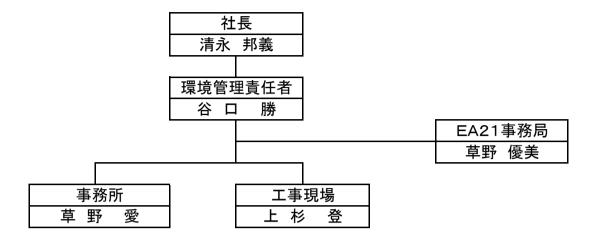
令和5年 7月25日

4.対象範囲

全組織•全事業

## 3.実施体制

### 環境組織図



## 責任と権限

責任と権限			
		1	環境経営の最高責任者
		2	環境方針の制定、環境目標及び環境活動の承認
代表者	社 長	3	環境経営システムの評価、全般的な見直し
		4	環境活動計画の承認
		<b>⑤</b>	環境管理責任者の任命
		<b>6</b>	環境取り組みに必要な資源・人材の確保
		1	環境経営システム全体の構築・運営の責任者
		2	環境経営システム実績等の代表への報告
		3	環境目標、環境活動及び環境活動計画書の確認、指示
		4	環境目標、環境活動計画書の進捗確認と修正の指示・実施
環境管理責任者	谷口 勝	<b>⑤</b>	環境経営システムに関する問題の明確化と記録の総括
		<b>6</b>	環境情報の外部への連絡
		7	環境活動レポートの作成
		8	教育と訓練の総括
		9	緊急事態発生時の判断
		1	環境管理責任者の代行及び環境活動の全社的な推進
E A O 4 吉 翌 日	<b>井町原子</b>	2	環境データの取りまとめ(集計)
EA21事務局	草野優美	3	環境文書発行・管理の実務
		4	その他、EA21事務全般
		1	工事現場での燃料削減等の管理
工事現場	上杉 登	2	工事現場での省資材、廃棄物の3Rの推進・啓蒙
		3	全作業員への徹底指導
事務所	草野 愛	1	エアコン、電灯、水道等の管理全般
	-	1	環境方針、目標の理解
全 社	員	2	環境活動の理解と実施
		3	改善の為の提案

#### 4.環境方針

## 熊本推進建設株式会社 環境方針

#### 

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が 人類共通の重要課題との認識にたち、事業活動における環境負荷の低減を図るとともにコス ト軽減のために社員一丸となって自主的・積極的に取り組みます。

#### く行動計画>

- 1. 具体的に次のことを継続して改善に向け取り組みます。
  - ① 電力・自動車・重機燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
  - ② 建設資材の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の推進
  - ③ 水資源の節水
  - ④ 環境に配慮した土木工法・工事の推進
  - ⑤ 環境方針、活動の目的及び内容を全社員に周知し、環境経営の継続的改善を行う
- 2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

制定日:H27.9. 1 改定日:R3.4. 1

能本推進建設株式会社 代表取締役 清永 邦義

### 5 環境目標

## 中期(3か年)環境目標(R5~R7年度)

#### 全体(事業年度:4月から3月)

福铁口播话口	₩ /÷	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
環境目標項目	単位	(実績・基準)	(目標)	(目標)	(目標)
①電気使用量の削減	kWh	28,491	28,349	28,207	28,066
(一电気) (大円重の円) (人)	KVVII	20,491	(R4年度より0.5%削減)	(R4年度より1.0%削減)	(R4年度より1.5%削減)
②ガソリン使用量の削減	L	5,236	5,210	5,184	5,158
②ガプリン 使用重め 削減	L	3,230	(R4年度より0.5%削減)	(R4年度より1.0%削減)	(R4年度より1.5%削減)
  ③軽油使用量の削減	1	9,777	9,728	9,679	9,631
<b>少</b> 柱/油皮/ 重め 門 減	ı	9,777	(R4年度より0.5%削減)	(R4年度より1.0%削減)	(R4年度より1.5%削減)
④CO2排出量の削減	kg-CO2	48,739	48,495	48,253	48,012
*①②③によるCO2合計	Kg-CO2	40,739	(R4年度より0.5%削減)	(R4年度より1.0%削減)	(R4年度より1.5%削減)
⑤排出産業廃棄物の	%	100	100	100	100
リサイクル率100%推進	90	100	100	100	100
⑥建設資材の省資源の推進	通年	省資源の徹底	省資源の徹底	省資源の徹底	省資源の徹底
⑦水使用量の削減	m³	24	24	24	24
<b>少小使用里の門/吸</b>	111	24	(維持)	(維持)	(維持)
8社会貢献·清掃活動実施	□	4	4	4	4
⑨工事における環境配慮	通年	徹底する	環境配慮の徹底	環境配慮の徹底	環境配慮の徹底

<sup>\*</sup>中期(3か年)環境目標を適用している。実際のR5年度以降の目標は、R4年度の実績の0.5%減で設定している。

<sup>★</sup>R5年度以降の目標は前年度実績に対し、O. 5%減とする。

<sup>\*</sup>①'電力の二酸化酸素排出係数は、九州電力(株)令和4度0.399を使用。(事務所・資材置場・現場)

<sup>\*</sup>④に関するCO2排出量の計算 (4捨5入)

<sup>\*</sup>④CO2排出量= ①×0.399+②×2.32+③×2.58

## 6 環境活動計画及び実施状況

#### ◆本社事務所 現場事務所 環境活動計画と実施状況評価

(評価: ○できた △不足 ×できなかった)

環境目標項目	担当者	環境活動計画(具体的活動)	評価
(1) 雨土は田具の判試		・不使用時・昼休みの消灯	0
①電力使用量の削減		・エアコンの設定温度(夏27°C、冬22°C)	Δ
	草野 愛	・エアコンフィルターの清掃(6~3月、毎月1回)	0
		・OA機器の退社時電源オフ)	0
		・ブラインドの使用	0
②ガソリン使用量の削減	/=\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	・エコドライブ実践	0
<b>②ガブリン</b> 使用重の削減	(責)上杉 登全員	・タイヤ空気圧チェック(月1回)(ガソリンスタンド使用時)	0
    ③軽油使用量の削減		・重機不使用時のエンジンストップ	0
○柱冲使用重00円/M	/主\ L +/ - 3%	・効率的重機運転(現場内での走行短縮)	0
	(責)上杉 登 全員	・タイヤ空気圧チェック(月1回)(スタンド使用時)	0
		・エコドライブ実践	0
		・機器類の搬出時点検	0
④CO2排出量の削減	上杉 登	・削減の徹底に努める	0
	   緒方俊一	·分別徹底	0
100%維持	柏刀饭 <sup>一</sup>	・3R活動の推進	0
6 建設資材の省資源の推進	上杉 登	・省資源、再利用の徹底	0
の 建設負別の省負源の推進	工作 豆		0
⑦水使用量の削減	草野 愛	•節水表示	0
		•会社周辺道路清掃	0
⑧社会貢献·清掃活動実施		・近隣自治会等への清掃活動協力	0
	谷口 勝   	・工事現場近隣の清掃活動	0
		・工事現場近隣への連絡	0
⑨工事における環境配慮実施		・生物多様性への配慮(河川工事等の汚濁防止)	0
	清永邦義	・低騒音・低振動型の機械の使用	0
		・排気ガス対応型の重機の使用	0
		・重機等への給油時の飛散防止	0

## 7.環境目標の実績

## 令和4年度短期環境目標の実績(R4年4月~R5年3月)

全体(事業年度:4月から3月)

\*令和4年4月~令和5年度3月(12カ月間) 実績評価

		令和3年度	令和4年度	令和4年度	目標÷実績×100
   環境目標項目	単位	R3年4月~	R4年4月~	R4年4月~	山水・大阪へ100
,	<b>中</b> 位	R4年3月	R5年3月	R5年3月	日梅海代数(//)
		(実績・基準)	(目標)	(実績)	目標達成率(%)
①電気使用量の削減	kWh	27,153	27,017	28,491	95%
() 电気候用里の削減	KVVII	27,103	(R3年度より0.5%削減)	20,491	95%
②ガソリン使用量の削減	L	6,090	6,060	5,236	116%
(2)カブリン 使用重の削減	L	0,090	(R3年度より0.5%削減)	3,230	116%
③軽油使用量の削減	L	9,675	9,627	9,777	98%
◎莊加使用重切削減	_	9,075	(R3年度より0.5%削減)	3,777	
④CO2排出量の削減	kg-CO2	51,518	51,260	48,739	105%
*①②③によるCO2合計	kg-002		(R3年度より0.5%削減)		
⑤排出産業廃棄物の	%	100	100	100	100%
リサイクル率100%推進	70	100	100	100	100%
⑥建設資材の省資源の推進	通年	100	省資源の徹底	100	100%
⑦水使用量の削減	m³	31	30	24	125%
			(維持)		
⑧社会貢献·清掃活動実施	回	4	4	4	100%
⑨工事における環境配慮	通年	徹底できた	環境配慮の徹底	徹底できた	_

<sup>\*</sup>④に関するCO2排出量の計算 (4捨5入)

<sup>\*</sup>④CO2排出量= ①×0.399+②×2.32+③×2.58

<sup>\*</sup>目標達成率が80%未満の場合は是正対象とする。

## 8. 3箇年の環境項目別の推移

#### ①電気使用量

年度	目標値kWh	使用量kWh	達成率%
R 2年度	28,441	36,442	78%
R 3年度	36,260	27,153	134%
R 4年度	27,017	28,491	95%

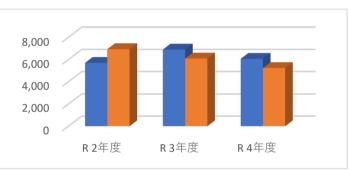


\*H30年度より目標値を前年度実績の一0.5%に設定

評価	次年度の取組内容
・本社の使用量は削減することが出来たのだか、現場に於いて昨年の数値を上回った。完工 高が増加しているため妥当な数値と言える。	・こまめな電源オフ。 ・引き続き努力して目標達成に向かっていく。 ・本社、現場共に作業効率を上げ、時間外作業の低減。

## ②ガソリン使用量

年度	目標値ℓ	使用量ℓ	達成率%
R 2年度	5,697	6,930	82%
R 3年度	6,895	6,090	113%
R 4年度	6,060	5,236	116%

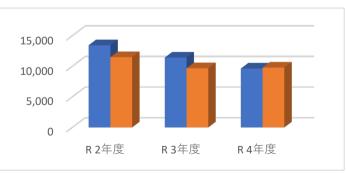


#### \*H30年度より目標値を前年度実績の一0.5%に設定

評価	次年度の取組内容
・完工高が増加したにも関わらず、目標を達成することが出来た。社員の高い意識によるものである。	・エコドライブの遵守、継続。 ・通勤時も各々が法規を守り、安全運転に努める。

#### ③軽油使用量

年度	目標値ℓ	使用量ℓ	達成率%
R 2年度	13,436	11,478	117%
R 3年度	11,421	9,675	118%
R 4年度	9,627	9,777	98%

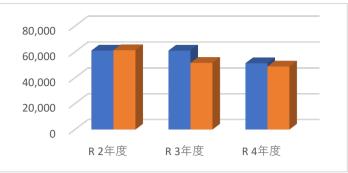


## \*H30年度より目標値を前年度実績の一0.5%に設定

評価	次年度の取組内容
	・エコドライブの遵守、重機不使用時のエンジンストッ
・目標を若干ながら下回った。完工高が増加し	プ。
ているため妥当な数値と言える。	・努めて低燃費重機、車両の使用を進める。
	・効率的な重機運転、車両走行に努める。

#### ④CO2排出量

年度	目標值kg-co2	排出量kg-co2	達成率%
R 2年度	61,052	61,319	100%
R 3年度	61,012	51,518	118%
R 4年度	51,260	48,739	105%

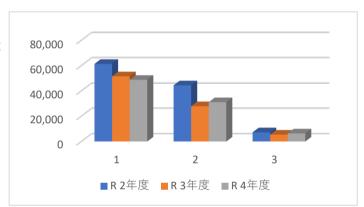


\*H30年度より目標値を前年度実績の一0.5%に設定

評価	次年度の取組内容
・完工高が増加したにもかかわらず目標とした	1 0 0 0 0 to
	・上記①②③参照
来た。	

#### ◎環境効率の指標 完成工事出来高/CO 2 排出量

年度	CO2排出量 kg-co2/t	完工高 (万円)	kg-co2/t当た り完成工事高 (円)
R 2年度	61,319	44,406	7,273
R 3年度	51,518	27,917	5,419
R 4年度	48,739	31,061	6,373

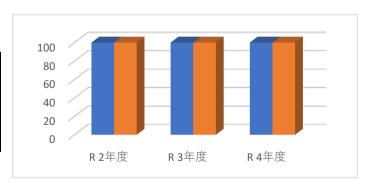


### \*H30年度より目標値を前年度実績の-0.5%に設定

評価	次年度の取組内容
・参考値としてCO2排出量と完成工事高の比率 を算出。結果、昨年よりは少々増加しているも ののCO2排出量は目標は達成出来た。	・目標は設定せず、総排出量の削減に努める。

#### ⑤排出産業廃棄物のリサイクル率

年度	目標値	実績	達成率%
R 2年度	100	100	100%
R 3年度	100	100	100%
R 4年度	100	100	100%



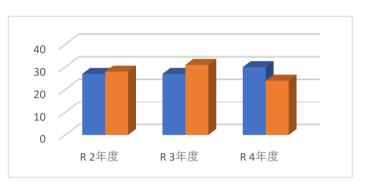
評価	次年度の取組内容
・各工事ごと、産業廃棄物発生時に中間処理施設へ搬入し100%のリサイクルを実施している。	・当該工事での再利用を検討。 ・同時に他工事への再利用を図る。

## ⑥建設資材の省資源の推進

評価	次年度の取組内容
資材発注時の数量把握、適切な使用に努めた。 塩ビ管等端材の他現場への転用を図っている。	・端材等は、転用できないか他現場と連絡を密にし検討する。

## ⑦水使用量の削減(本社事務所のみ)

年度	目標値	実績	達成率%
R 2年度	27	28	96%
R 3年度	27	31	87%
R 4年度	30	24	125%

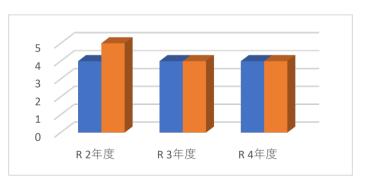


### ・本社のみの設定とした

評価	次年度の取組内容
・今年度の水使用量は目標を達成出来た。更なる社内での削減への意識を高めるために、社内 会報等で周知を図る。	・現場では、近くの河川等で利用検討し状況に応じて利用可能な場合は適宜利用に努める。

## ⑧社会貢献・清掃活動実施

年度	目標値	実績	達成率%
R 2年度	4	5	125%
R 3年度	4	4	100%
R 4年度	4	4	100%



評価	次年度の取組内容
・会社周辺道路清掃(毎月初め実施、回数は年1回計上) ・近隣自治会等へ清掃活動協力(9月24日実施) ・元請現場近隣の除草清掃(9/30,3/17の2回実施)	・毎年実施していく。

#### ⑨工事における環境配慮

評価	次年度の取組内容
・現場責任者が率先して指導しており、概ね配慮した取組みができた。	・現場責任者を中心として、協力業者を含め作業者全員がエコ活動を実施する。

## 9.環境目標の達成状況の評価及び未達成の場合の次年度の取組

(期間:令和4年4月~令和5年3月)

		Ī	
環境目標項目	目標達成状況(目標達成率%)	達成・未達成の要因 (環境目標の妥当性、環境活動計画の実 施状況を含む)	次年度の取組み 環境目標の追加変更 環境活動計画への追加変更
①電力使用量の削減	95%	本社の使用量は削減することが出来た。 完工高が増加した為現場の使用量は少々 増加した。	・こまめな電源オフ ・本社・現場共に作業効率を上げ 時間外作業を低減する
②ガソリン使用量の削減	116%	前期に同様、使用量を削減することが出来た。完工高は前期に比べ増加しているので、この結果は社員の高い意識によるものである。	・エコドライブの遵守・継続 ・通勤時も各々が法規を守り安全 運転に努める
③軽油使用量の削減	98%	完成工事高が前期に比べ増加しているため使用量が少々増え、目標を達成できなかった。	<ul><li>・エコドライブの遵守・継続</li><li>・重機・車両共にアイドリングス</li><li>トップに努める</li></ul>
④C02排出量の削減	105%	電気(本社使用分)、ガソリンの使用量を 削減することが出来た。本社・現場での 意識の徹底によるものである。CO2排 出量も目標を達成することが出来た。	・上記①②③の徹底
⑤リサイクル率100%の維持	100%	全ての工事に於いて、産業廃棄物発 生時に中間処理施設に搬入し100%のリ サイクル率を実施している。	・該当工事での再利用を検討し、他工事への再利用を図る
⑥建設資材の省資源の推進	100%	資材の正確な数量把握・適切な使用 に努めた	・端材は他工事に転用できないか検討する
⑦水使用量の削減	125%	職員の意識を高め、徹底した意識で目標を達成することが出来た。。	・本社においては変わらず節水の 徹底 ・現場での近隣河川等利用の検討
⑧社会貢献・清掃活動実施	100%	会社周辺道路清掃(毎月初め実施) 近隣自治会等への清掃活動(9/24実施) 現場近隣の清掃活動(9/30,3/17実施)	・毎年実施継続
⑨工事における環境配慮	_	現場責任者が率先して指導しており、概 ね環境に配慮した取組みが出来た。	・現場責任者を中心として、作業者全員で環境配慮を意識する

## 10.環境関連法規等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は下記のとおりである。

遵守評価 R5.3.31 環境管理責任者 谷口 勝

適用される法規名称	適用規制事項	適用を受ける内容	遵守評価	
	産業廃棄物の収集運搬	マニフェスト伝票の交付		
	産業廃棄物の排出	産業廃棄物管理票交付状況報告書の提出	$\circ$	
		一般廃棄物においては分別・減量		
	建設工事廃棄物の適正な	建設廃棄物においては、収集運搬業許可証		
	処理	の維持、保管基準の遵守、委託契約の締結、	$\circ$	
		マニフェスト伝票の交付・保管		
建設リサイクル法	廃棄物を現場で分別し、	対象工事の届出、土木工事に係る建設副産物		
	資材ごとに再利用する	の再資源化及び利用促進	O	
オフロード法	建設工事に使用する機械	排出ガス対策型機械の使用		
	による大気汚染防止		O	
	特定建設作業における騒音	作業開始前に特定建設作業の届出(杭打機、		
騒音規制法	の規制	削岩機、バックホゥ、ブルドーザー使用に		
		による作業時)		
	特定建設作業における振動	作業開始前に特定建設作業の届出(杭打機、		
	の規制	舗装版破砕機、バックホゥ、バイブロハンマ	バックホゥ、バイブロハンマ	
		使用による作業時) *熊本市環境政策課		
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・冷蔵庫	リサイクル料の支払い、廃棄時の適正処理	該当なし	
リサイクル法	パソコン	リサイクル料の支払い、廃棄時の適正処理	該当なし	
フロン排出抑制法	業務用空調機	フロン類の登録回収業者による適正な回収	該当なし	
ノロノが田抑制法		3カ月に1回簡易点検を実施(点検記録を保存する	0	

<sup>\*</sup>環境関連法規制の遵守状況のチェック結果、違反はありません。 また、現時点まで関係当局からの違反の指摘・住民等からの苦情・訴訟についてもありません。

### 11.地域における活動

地域の環境貢献

現場周辺地域での社会貢献活動

実施日:令和4年9月30日(熊本市西区池上地区)









当社元請工事現場付近を、社会貢献活動として 清掃等の美化活動を行っています。



#### 地域の環境貢献

#### 現場周辺地域での社会貢献活動

実施日:令和5年3月17日(熊本市西区小島町地区)









当社元請工事現場付近を、社会貢献活動として 清掃等の美化活動を行っています。



#### 地域の環境貢献

#### 当社事業所周辺美化活動

実施日:毎月初旬(熊本市西区蓮台寺地区 本社前)









毎月初旬に(回数は年1回計上)、当社事業所周辺を社会貢献として除草、清掃等の 美化活動を行っています。



#### 熊本市西部地域資源保全貢献活動



実施日:令和4年 9月24日(熊本市西区城山大塘地区)





毎年近隣自治会への清掃活動に協力し、重機、車両を提供して住民の方々と |と共に美化活動を行っています。直に住民の方々の感謝の声を聞くことが 出来て、社員一同にとってもとても満足度の高い活動となっています。



### 12.代表者による全体の評価見直しの結果

エコアクション 2 1 環境方針に基づき、当社の環境活動への取組みも第 9 期となりました。エコアクションの取組みは、従業員一同に浸透しており常に高い意識を持って環境配慮に取組んでおります。

本年度は、前年度に比べ完工高が増加した為、CO2排出量も増加することが 予想されましたが、目標の数値を達成する事が出来て削減することが出来ました。これは現場での徹底した取組みによるものです。

また昨年は、熊本県の第3期SDGs事業所登録も行いました。エコアクション 21と併せてエコ活動、近隣地域等へのボランティア活動等地域貢献活動も積 極的に取り組んで参ります。

尚、環境方針、環境目標、環境活動計画、実施体制は継続のこととします。

熊本県SDGs登録事業者登録事業者登録。証: 無本県SDGs登録事業者登録。証: 無本規題は、設備事業者として改賢し、ここに証します。 を対する者: 熊本維通建設株式会社 登録 同: 第3期 登録 同: 第3期 登録 同: 今和4年(2022年)9月8日から、 令和7年(2022年)9月8日から、 令和7年(2022年)9月8日 東本県知事 部局 節 第本県 令和5年 3月31日

## 熊本推進建設株式会社

代表取締役

清永 邦義

